

## 警察署協議会議事概要

協議会名	神奈川県相模原警察署協議会
日 時	令和5年7月20日（木）午後2時30分から午後5時までの間
場 所	神奈川県相模原警察署
出席者	<p>1 警察署協議会側            会長 宇田川隼、副会長 平岩夏木、委員 浅原寛、委員 宮川令、委員 兼杉千秋、委員 中野太郎、委員 伊藤和哉、委員 加賀谷育子、委員 飯沼守 計9人</p> <p>2 警察署側            署長 秋本剛、副署長 伊草稔、会計担当次長 鈴木恵、地域担当次長 宮坂健一、刑事担当次長 森山文博、交通担当次長 田中大輔、警務課長 緒方稔、生活安全第一課長 相原健児、生活安全第二課長 後藤辰也、刑事第一課長 沖田亮二、刑事第二課長 渡邊和也、交通第一課長 木村浩之、交通第二課長 鳥海宗紀、警備課長 寺井俊之、留置管理課長 島崎祐輔、地域第二課長 寺田佑介 計16人</p>
議事要旨	<p style="text-align: center;">警察署協議会からの答申等に対する措置結果の説明</p> <p>1 諮問            自転車の事故防止対策と自転車乗車用ヘルメットの着用促進について</p> <p>2 答申            (1) 「自転車の事故防止対策」            ア 各年代別に応じた交通安全教育の実施            イ 自転車乗車時の交通ルールの教育及び遵守            ウ 業界団体、学校、PTA、地域との連携の強化            (2) 「自転車乗車用ヘルメットの着用促進」            ア 高校、大学、事業所に対するヘルメット着用の働きかけ            事業所には安全運転管理者への働きかけ            保育園、幼稚園の送り迎えの保護者に対する働きかけ            イ 事故発生の数を周知させる（パンフレットの配布）            配布場所を厳選して効果的に（銀行、駐輪場、淵野辺駅のデジタルサイネージ等）</p> <p>3 措置結果            (1) 「自転車の交通事故防止対策」            令和5年上半期の交通安全教育を各年代別に応じて実施した。            また、運送会社と連携して小学生に実際にトラックの運転席に座ってもらい、運転手からの死角を知ってもらった。            (2) 「自転車乗車用ヘルメットの着用促進」            関係機関の職員や市民会館で行われた安全運転管理者法定講習の来場者に対し、自転車乗車用ヘルメットの着用を働きかけた。            ソフトボールのイベント会場で、多数の来場者に向け、自転車乗車用ヘルメットの着用を働きかけた。            また、警察署1階ロビーと行政機関の待合室で警察庁作成の自転車乗車用ヘルメット着用促進DVDを放映している。            管内にある金融機関や学校、保育園にポスターやチラシの掲示を行ってもらい、10月には管内にある大学の学園祭において自転車を中心とした交通安全ブースを出展する予定である。</p>

	諮問
	「特殊詐欺対策について」
	答申
	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 高齢者とその家族とのコミュニケーションを増やしていくように家族に啓発活動を行う。家族から高齢者に具体的な手口など質の高い情報を提供してもらう。</li> <li>2 各地域が自主的に啓発活動が出来るように具体的な手口などを示したツールを警察から提供してもらう。これを各地域のコミュニティで啓発を広めていく。</li> <li>3 パトロール時に配布している紙に啓発内容を入れる。</li> <li>4 御朱印を含めた現状の啓発活動の効果検証を行い改善をしたり効果の高い活動をより拡大していく。</li> </ol>
	業務説明
	令和5年4月から6月までの業務推進結果及び令和5年7月から9月までの業務推進重点について資料を配布し説明した。